

下津留川右俣・沢登り

【報告者】H塚

【日時】2019年8月12日

【天候】晴れ

【参加者】H塚、A屋、E崎

*計画書作成時にH塚が右俣と中俣を間違えて地図に落とし込んでしまい、中俣で計画出していたが右俣を遡行してきてしまいました。どうもトポと違うなと思ったら…。下山後に記録見返して気づきました。すみません。確認が不十分でした。ということで貴重な右俣の遡行記録です。

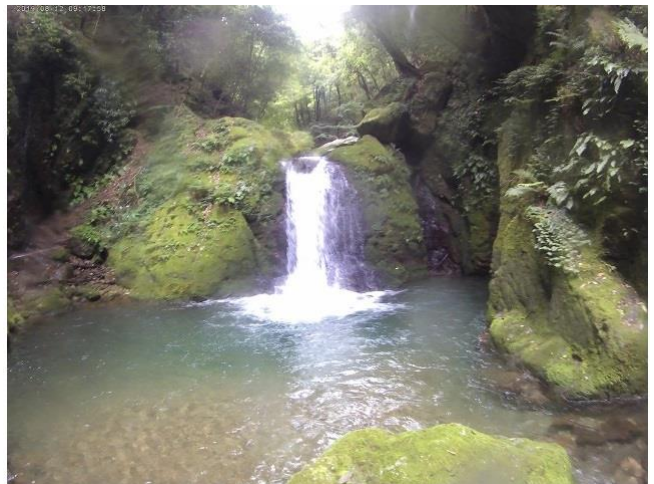
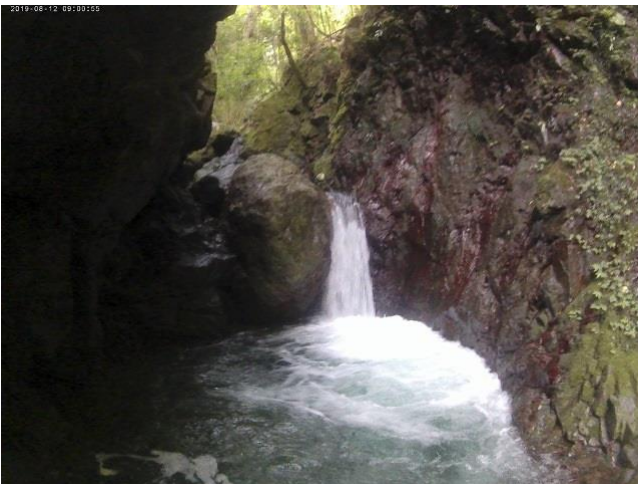
《コースタイム》

下津留集落 8 : 40 - co480 二股 9 : 30 - 遡行終了・国道 11 : 40

《報告》

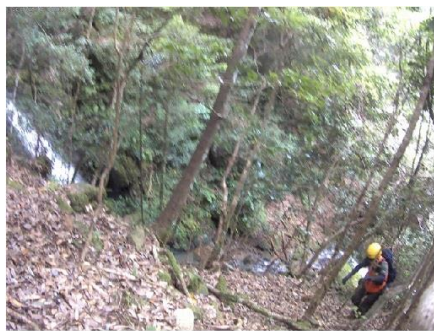
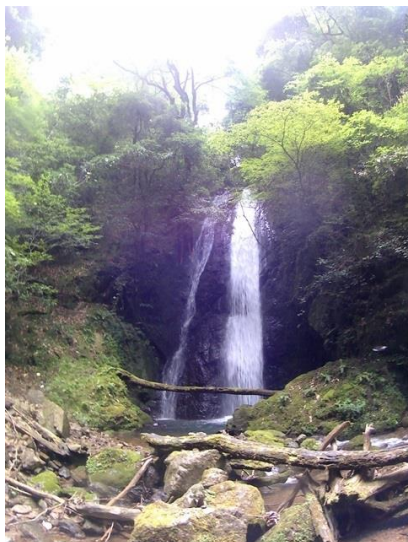
(入渓までの参考情報) ファミマ熊本美里三和店に朝集合。駐車場も広く位置的にも待ち合わせ場所に良い。下津留の集落は車を止められるスペースが少なかったが、墓地前に住むおばあさんの好意で墓地横に駐車させてもらう。A屋さんがおばあさんから聞くには、最近、入渓しようとしてマムシにかまれた人がいたらしい。恐ろしい。車デポは沢と国道445がぶつかる地点から少し上(五家荘側)に行ったらところに路側帯があり、1~2台止められそう。そこに車をデポし、下津留の集落に戻って入山。集落の橋を渡ってすぐ、沢沿い右岸側に道があり、その道で最初の堰堤を巻いて入渓。

(沢の記録) この日の熊本市の最高気温は36度だが、前日に降雨があったそうで水は冷たい。H塚が奇声を上げながら入渓。ほどなく金属の土砂止めを持つごつい堰堤が現れ、ピンクテープのある左岸側を巻く。泥や浮き石の斜面をトラバースする嫌な巻きで、実はこの沢の核心だったんじゃないかと思う。その後は釜を持つ3m程度の滝が2つと堰堤。堰堤は右岸を巻く。滝2つは水流が激しく水際の直登は無理だが、脇の壁などを登れる。メンバーによっては補助が必要かも。泳ぎはこの滝で終わり。



(最初の方に出てくる2つの滝)

入溪1時間ほどでCo480二股に着き、右に入る（ここで左に行くのが中俣と左俣）。倒木が多く歩きにくいのに飽きてきた頃、大きな滝が出てくる。巻いている途中にわかったが3段ある。1段目が立っていて高さがありなかなかの迫力（写真左下）。奥の2，3段目を含めて右岸側の支沢から入って大きく巻く。また浮き石に気を遣い、最後の落ち口に降りるところはブッシュをつかみながら。次に7～8mぐらいの大きな滝が現れるが直登は無理そうで、これもまた巻き。その次にようやっと登れそうな滝が出てきて（写真右下）、ロープを出して右岸の岩壁を登り、落ち口にトラバースして立ち木でビレー。



↑3段の滝の巻き途中。
 ←3段の滝の1段目。
 ロープを出した滝。右岸側の壁→
 を登って落ち口にトラバース。

その後はナメや小滝がちよこちよこ。最後は3つ滝が続くのが見えて、直登が難しそうなので巻き道を探していたら、上に国道のガードレールを発見。そのまま上がって終了。さまたの湯に寄って帰福。



最後の方はナメや小滝がちよこちよこ登場。